

公益社団法人 東京都臨床検査技師会 平成 25 年度 第 9 回理事会議事録

日 時：平成 26 年 1 月 15 日（水）19 時 00 分～20 時 30 分

場 所：都臨技事務所

出席者：下田，千葉，小松，宮崎，高城，中西，原田，工藤，土橋，星野，蝶名林，佐藤，松村，小山，東海林監事，立花監事，沖田役員選出委員

1. 理事行動報告

12 月 16 日（月）	学術部会	小松，高城，中西，蝶名林
12 月 20 日（金）	編集委員会	高城，蝶名林
1 月 6 日（月）	表彰選考委員会	工藤
1 月 8 日（水）	都臨技監理会議	下田，千葉，小松，宮崎，高城，原田，鈴木，工藤，小山
1 月 9 日（木）	組織部	多田，小山，松村，蝶名林，杉岡
1 月 10 日（火）	会計部	鈴木

2. 報告事項

(1) 平成 25 年度第 8 回理事会および第 9 回監理会議 の議事録内容確認

議事録参照

次回の監理会議は医療従事者ネットワーク講演会と重なるため 2 月 5 日を 2 月 12 日に変更する。

都臨技会誌表紙の変更「東京都医学検査 Tokyo Metropolitan Journal of Medical Technology」

(2) 各部局報告

○支部

【報告事項】

<部長報告>

- ・来年度は支部としての活動を展開していく。都臨技主催の勉強会の回数を増やすなど様々な事業を展開していく。
- ・予算計画，事業計画を都に提出する。消費税増税分を考慮する。予算通りの活動を実施していく。
- ・代議員選挙については全体でやってほしい意見もあったが，開票・集計作業の労力と支部制制度の活用のため支部ごとの選挙とした。今回の結果を踏まえてステップアップする。
- ・都外会員は北支部から発送されたが，全体から選ぶべきとの意見が会員からあった。支部規程の作成を含めて，今後の検討事項とする。

<各支部（地区）報告>

①東支部：公開講演会「生活習慣病予防に向けて，血管年齢を理解しよう！」について

日時：平成 26 年 3 月 1 日（土）14：00～

会場：タワーホール船堀 4 階研修室

講師 1)生活習慣病予防に向けて，血管年齢を理解しよう！

講師 太田雅也 先生(株式会社フューチャー・ウェイブ)

2) 生活習慣病を理解する

講師 由良 明彦 (美穂診療所)

②西支部：特記事項無し

③南支部：公開講演会「がんばれ！メタボ対策」Latin Dance エクササイズ

日時：平成 26 年 2 月 8 日（土）14：30～

会場：NOAHSTUDIO 都立大スタジオ 1st

講師：ZUNBA インストラクター IPPEI

④北部地区：特記事項無し

⑤フォーラム委員会

- ・第 13 回都臨技フォーラムについて

日時：平成 26 年 1 月 13 日（土）15：00～18：30

場所：(株)堀場製作所 東京セールスオフィス

テーマ：「これが聞きたい！！チーム医療～救急医療！求められる臨床検査技師の役割と可能性～」

講師：1)院内認定資格“救命救急検査士”とは 亀田総合病院臨床検査部 大塚喜人

2)救急医療における異常検査値を読む 日本医科大学付属病院 中央検査部 柴田泰史

3)救命救急チーム医療における検査技師の役割 日本医科大学付属病院高度救命救急センター 荒井正徳

終了後懇親会を開催。出席者は松村まで

○地域保健共催部

【報告事項】

・平成25年度第2回学生対象講演会について

テーマ：「臨地実習にむけた心構え～知らなくてはいけないこと・やるべきこと～」

日時：平成26年1月25日（土） 14：00～16：30

場所：社会保険中央病院 4階講堂

講師：千葉副会長，林幹事 司会：神保幹事

配布資料原稿締め切り：1月15日

○学術部

【報告事項】

1) 前回議事録内容確認

2) 理事会報告

・平成26年1月10日（金）19：00～開催の新春の集いについて幹事に連絡する。

・中間監査報告：予算のついている事業をしっかりと執行する。

3) 編集委員会報告

・2月号の原稿はすべて入稿済み。

・次号以降のシリーズは「臨床工学士の立場から」社会保険中央総合病院 臨床工学部 山家 敏彦

・表紙のデザイン変更 → 監理会議で決定

「東京都医学検査 Tokyo Metropolitan Journal of Medical Technology」

ISSN登録申請 発送にぎりぎり間に合うタイミング。

・5月号に予算案と事業報告，総会の議案書を掲載予定。今年度の事業が終了次第，報告書を高城部長と蝶名林次長に提出する。

→当日資料P16～17参照 4月以降の消費税増税分を上乗せして計上しても会員数が増えていて会費収入が増える。
検査説明研修会は2回，予備事業を計画して今年度の予算を使い切る。

→監査で指摘されているので事業計画の報告及び予定をきちんと提示する。

4) 精度管理委員会報告

・都臨技精度管理調査について，参加施設 213 施設（医療機関 187，試薬メーカー26）

データ報告会は2月27日を予定，場所は社会保険中央病院

・日臨技精度保証施設認証制度に対するアンケート調査について，11月1日現在回答数 46 施設だった。未回答施設に対し再度調査依頼を実施する。

・日臨技精度保証施設認証制度について，都臨技所属施設申請数は 17 施設だった。

（認証施設数：7 施設，書類不備等による再提出依頼施設：10 施設）

・凝固検査精度管理調査について実施案を検討中

5) 生涯教育委員会報告

・11月分として研修会 15 件，自己申告 7 件の登録があった。

6) 学会運営部

・第10回東京都医学検査学会について企画委員会で検討中

・研究班合同企画について後藤班長より企画委員会に提案された。

7) 東放技の原稿について

・12月（輸血研究班），1月（生理研究班），2月（情報システム研究班）

- ・原稿依頼状をもらえるか確認する。

8) 会計について

- ・第3四半期の会計を行うので、12月末の会計簿と仮払い事業の終了したものを平成26年1月10日までに提出する。(仮払い事業で終了したものは、会計簿、領収書、残金を提出する)
- ・講師料、現行量を支払うときに、年間20万円以上もらうと確定申告が必要なことを伝えたほうが良い。
→都臨技としての源泉を出している。20万未満でもあらかじめ税金が引かれていることがあり、申告すれば還付があるかもしれないので20万未満でも確定申告について伝えたほうが良い。
- ・受益者負担の講習会で、どの位まで赤字が許容されるのか実際に予算を出して見て検討する。
- ・会場費の計上は統一したほうが良いので会計部に確認する。
- ・共催は、費用の折半が望ましいので、共済会社から講師料ではなく協賛金の形でもらった方が良い。このためコマースタイムはなくなるがパンフレットの配布、事前のチラシ配布は行って良い。

【討議事項】

1) 支部での学術研究版活動について

- ・前回討議した内容の確認を行った
- ・講師依頼状の作成を支部で行うのか、研究班で行うか確認する→依頼は支部から行う
- ・次年度の幹事は4月の理事会で承認される予定
- ・班長も支部の活動に参加するのか定かでない。→支部の活動なので任意参加でよい
- ・現状、支部での研究班幹事の詳しい行動がわからないが、今後幹事を集めて話し合いを行う予定
→2月7日の施設連絡者会議で今後の方針を説明

○庶務部

【報告事項】

- ・現在の会員数及び賛助会員数の報告(平成25年12月27日現在)
会員数 4,539名(平成24年度会員数 4,242名)
平成25年度賛助会員数 75社(平成24年度賛助会員数 80社)

○会計部

【報告事項】

報告書の開催日訂正：平成26年12月6日→1月10日

- 1) 平成25年12月の予算管理月報、収支計算書、他2表を作成、別紙資料に報告。
- 2) 平成25年12月30日現在の会費収入状況

	H25年度実績	前年同月実績
入会金納入者合計数	386名	362名
(入会金納入者数)	(356名)	(340名)
(減免入会金納入者数)	(30名)	(22名)
正会員会費納入者数	4515名	4311名
学生会員入会金納入者	286名	—
賛助会員会費納入社数	75社	77社
未納者数	1名	114名

3) おもな事業活動収支について(一部)

支出

- ・事業支出(地域保健共催) 4,200円：大田健康祭り宅配費用
- ・事業支出(機関誌発行) 1,182,168円：会誌11月号作成費用
- ・事業支出(機関誌発行) 381,811円：会誌11月号発送委託費用

4) H26年度予算について

消費税増額分3%を加算(会議費、諸謝金を除く)する。

研修会会館所得積立金額により収支差額の調整を検討することとした。

1月末に提出される各事業予算を集計し2月理事会に予算原案を提案。

3月理事会で承認を受けることとした。ただし、書類提出期限までの期間が短いため、書類作成を並行し

て行うこととした。

5) H25 決算について

会計簿、残金提出：3月13,14日(木 金) 19:00～ 都臨技事務所

会計作業：3月17～24日の3～4日間 会計ソフトへの入力は3月28日までに済ませる

H25年度監査スケジュールの調整を宮崎副会長に依頼することとした。

6) 社会保険について

1月中に手続きを行うが、遡って支払う必要があるかどうか確認することとした。

○事務局

【活動報告】

<12月の事務局の主な活動>

- ・新春のつどいの招待状発送 38件
- ・新春のつどいの来賓，受賞者の出欠席のとりまとめ
- ・他団体から新春のつどいの招待についての回答
- ・年賀状の印刷，発送 148件
- ・賛助会員への次年度の振込用紙発送 71件
- ・本年度会費未納の賛助会員への催促状発送 11件
- ・全会員宛に新春の集いと学会参加登録のお知らせ文書発送 1461件
- ・3月卒業される検査技師養成校へのアンケート発送 11件
- ・学生対象講演会のご案内発送 11件
- ・日臨技精度管理施設認証の申請書類を日臨技に送付 17件
- ・代議員選挙の投票用紙受け取り作業

<都臨技ホームページについて>

- ・東支部，西支部，南支部，北支部を新設
- ・庶務部，学術部，組織部は削除
- ・渉外部を「地域保健共催部」に変更
- ・日臨技より「甲状腺超音波検査技師養成講座（講習会第2回）の開催について協力依頼があった。都臨技ホームページにお知らせを掲載，日臨技にリンクした。

【その他】

1月6日，井上事務局長が男児を出産された。

(3) 各委員会報告

○編集委員会

【報告事項】

1) 平成26年2月号入稿

- ・特集：一般研究班，入稿済み。図が多いため，予定よりページ数が多くなっている。
- ・シリーズ：「他職種から検査技師に知っていて欲しい知識」栄養士の立場から，入稿済み。
- ・施設紹介：関東中央病院 → 入稿済み
- ・会長の年頭あいさつ入稿済み。
- ・第10回東京都医学検査学会案内，入稿済み。

2) 次号以降のシリーズについて

- ・臨床工学士の立場から 社会保険中央総合病院 臨床工学部 山家 敏彦

【検討事項】

1) 次年度会誌の表紙について

- ・前回の意見を踏まえて，修正案を理事会にて提案した。
- ・タイトルの変更に関して，サブタイトルとして『都臨技会誌』を残せば，ISSNに再登録しなくても問題ないのか，永間氏に調べていただくようお願いした。
- ・表紙の特集の写真については，トリミングによって多少大きさが変化する。

- ・季節の写真は、とりあえず四季の写真を東広社さんに用意していただく。
 - ・背表紙は年ごとに色を統一する。
 - ・1月8日の監理会議にて最終的に決定されるので、結果を高城部長より東広社に連絡する。
- 2) 2月会誌の原稿の初校について
 - ・年末年始のため、少し遅れているが来週には届く。
 - 3) 研修会の要旨・記録表記
 - ・会誌に掲載する際、生涯教育点数を記録にも載せる。
 - 4) シリーズについて
 - ・来年の11月号まで決めておきたい。

○生涯教育制度実行委員会

【報告事項】

- ・生涯教育対象行事（6月）
 - 都臨技研修会 15件 登録者数 1,168名
- ・申告 会場研修 5件 登録者数 34名

○選挙管理委員会

【報告事項】

施設連絡者への連絡が漏れる不手際有。→ 再発送を行いHPでお詫び
投票用紙発送済み。開票作業はこれから。

○表彰選考委員会

【第7回報告事項】

- 1) 小島三郎記念技術賞・福見秀雄賞について
 - ・小島三郎記念技術賞および福見秀雄賞の候補者より推薦書類が提出された。
 - ・それぞれの書類文面の微修正を高橋委員長および尾形委員より各候補者へ連絡し再提出を依頼することとした。その上で正式に提出書類を作成し手続きを取ることにする。
- 2) 日臨技学術奨励賞（優秀論文賞・優秀演題賞）について
 - ・10月31日付で日臨技より「各賞受賞候補者の推薦について」の依頼が届いた。
 - ・日臨技会誌の原著論文等について平成25年1月から平成25年12月掲載分について検討した結果次の2編を推薦することとした。なお、本奨励賞の推薦について本委員会の推薦資格有無や規定について、検討する必要があることを上程し審議してもらうこととした。
- 3) 過去の各賞受賞者の名簿の整理について
 - 各賞受賞者名簿作成の進捗状況を確認。

【第7回検討および確認事項】

- 1) 平成26年秋の叙勲・褒章推選について
 - ・例年1月に推薦依頼が届く秋の叙勲・褒章推薦について、現段階での推薦者の擁立は難しい状況。
 - ・この賞の推薦に関しては経歴の確認・提出書類の作成の等の準備に費やす期間を考慮し、今後は1年あるいは2年後を見据えて対応する必要がある。このことを次期委員会へ申し送ることとした。
- 2) 都臨技表彰に関する事項
 - ・都臨技表彰者の対象者についてリストを整理し「都臨技新春のつどい」に招待者の提示があり、了承した。
 - ・永年会員表彰者表彰について、表彰状だけでなく記念品等についても今後検討する。
- 3) 過去の各賞受賞者の名簿の整理について
 - 都臨技功労賞などを含め、各賞受賞者について現在整理中。
- 4) 表彰選考委員会ホームページ等での公開内容について
 - 現在、継続して検討中。
- 5) 表彰選考委員会規定の見直しについて
 - 規定を見直し変更事項があれば拾い上げ、次期委員会に申し送る。

【第8回報告事項】

- 1) 日臨技学術奨励賞（優秀論文賞・優秀演題賞）について
 - 日臨技より10月31日付けで届いた「各賞受賞候補者の推薦について」は委員会で選定した2編について推薦文を作成し、提出締切りの平成26年1月17日（金）に間に合うように提出

することとした。推薦文の作成は千葉・小松両委員に担当して頂く。
→本日（15日）急ぎ提出する）

2) 小島三郎記念技術賞・福見秀雄賞について

小島三郎記念技術賞および福見秀雄賞の候補者より推薦書類が提出された。平成25年12月16日に平成26年度小島三郎記念技術賞・福見秀雄賞の推薦依頼が届いており、締切りが平成26年2月7日（金）必着となっているので内容を確認し、提出書類を作成し手続きをとる事とした。

3) 平成26年秋の叙勲・褒章推薦について

平成26年秋の叙勲及び褒章候補者の推薦依頼が平成25年12月27日に届いた。締切りが平成26年1月16日で、前回委員会で検討したようにこの推薦に関しては経歴の確認・提出書類の作成等の準備に費やす期間を考慮し、今後は1年あるいは2年後を見据えて対応することとし、今回は推薦者無しとして会長へ報告する。

4) 厚生労働大臣感謝状候補者の推薦について

平成25年12月27日に推薦依頼が届いた。締切りが平成26年1月14日となって居り候補者の選出には期日が短く候補者無しとして会長へ報告する事とする。

【第8回検討および確認事項】

1) 叙勲・褒章推薦について

この賞の推薦に関しては経歴の確認・提出書類の作成等の準備に費やす期間を考慮し、今後は1年あるいは2年後を見据えて対応することとし、次期委員会へ申し送ることとする。

→日臨技が団体として登録されていなかった。登録すれば定期的に推薦が可能。登録申請書類を作成中。除外団体：歯科医師会、薬剤師会

2) 都臨技表彰に関して

- ・都臨技表彰の対象者についてのリストを整理する。
- ・永年会員表彰者の記念品等について検討

3) 過去の各賞受賞者の名簿の整理について

- ・都臨技功労賞など各賞受賞者について過去の経歴など現在整理中。

4) 表彰選考委員会のホームページ等の公開内容について（継続検討）

5) 表彰選考委員会規程の見直しについて（継続検討）

○ 役員選出委員会

委員会は開催されていない。

6名で実施しているが4支部になったので人数を増やしたい

→定数は8名になっている。

前回の理事会に役員選出規定（案）の追加事項を提案した。持ち帰って検討する段階だと理解している。

それについての意見をまとめて役員選出委員会まで教えてほしい。

→代議員の選出は4月、役員承認は6月、役員に立候補して漏れると丸2年代議員にもなれない、などの意見が出されている。意見を打ち返すので引き続き検討してほしい。

○ その他

1) 医療従事者ネットワーク講演会について

2月5日（水曜日）19:00～都庁にて医療従事者ネットワーク講演会が開催される。参加者については都臨技からまとめて申し込む。

→本日出席の理事の出欠を確認、欠席者については宮崎副会長が確認して申し込みを行う。

2) 厚生労働省委託チーム医療推進事業について

2月16日（日曜日）9:00～ 笹川記念会館にて 開催

テーマ：チーム医療による災害支援

日臨技を含む18団体からなるチーム医療推進協議会主催の研修。参加費は無料。

日臨技から都臨技に10名以上の参加要請があった。日臨技より参加者の交通費が支給される。

参加申し込みは各自で実施し、宮崎副会長あてに参加を報告する。

3. 審議事項

○庶務部

- ・新入会17名が提示され審議の結果、承認された。

○会計部

- ・来期予算案について当日資料 P16～17 にしめす。質問はメールで鈴木会計部長へ
- 会員数が約 300 名少なく計上している等のプラスαの事項を把握して、2月の監理会議で審議、2月理事会で承認、3月に提出。

○事務局

- 「個人情報保護に関する基本方針」および「個人情報保護管理規程」について 当日資料 P18～24 参照
- ・現行の基本方針は H18 年改正で内容や情報が古いため 2013 年夏ごろより HP への掲載を中断している。
- ・他都道府県技師会や他団体は「個人情報保護管理規程」と合わせて掲載している例が多いが、都臨技には規程が存在しない。
- ・他都道府県、団体の情報を調査し、公益社団法人へ移行した愛臨技のものを参考に基本方針改正案、および規程案を作成した。
- ・新旧対比にして案を提示、ただし規定については都臨技に存在しないため、対照として平成 24 年 3 月 18 日に制定された梨臨技（一般社団法人）の規程を提示（対照とするため梨臨技規程は「章」が順不同）。
- ・規程は HP に掲載しない。理事ページに載せる。
- ・各案の内容、規程については名称：「規程」、「ガイドライン」等について検討する。
- メーリングリストで「案」を送付する。2月10日夜締め切りで意見収集する。
- 2月監理会議理事会で審議して2月中にHPに掲載する。

- 選挙管理委員会より、下記の規程および細則が提示され審議の結果、内容の微修正のうえ承認となった。
代議員選挙管理規程、選挙管理委員会規程

4. 共催許可願い書について

- 微生物班より共催許可願い書が提出され、審議の結果、承認された。

講演名：感染制御講座（2）ここまでわかってきた！*Helicobacter cinaedi* の感染症

期 日：平成 26 年 2 月 21 日（水）18：30～20：00


会 場：東京大学医学部付属病院 入院棟 A15 階大会議室

講 師：虎の門病院臨床感染症科 荒岡 秀樹先生（医師）

平成 26 年 1 月 15 日（水）
公益社団法人東京都臨床検査技師会

議 長 下田 勝二 
(下田)

監 事 東海林 治三郎 
(東海林)

監 事 立花 勇一 
(立花)